

参考—4

水資源有効利用融資の概要

1 融資対象とする地域

関東臨海、近畿臨海、北部九州等の水需給逼迫地域及び人口50万人以上の都市圏を融資対象とします。

2 融資対象とする工事

(1) 雑用水利用設備(原則として処理能力50m³/日以上)

雑用水利用に必要な水処理設備

上記に付帯する設備(配管、ポンプ類、高置水槽、電気計装類、土木建築設備等)

上記設備の設置に必要な土地

(2) 工業用水再生利用設備(原則として節減率10%以上)

水ろ過装置、沈殿装置、その他製品処理、洗浄用水の再生利用のための設備

冷凍機等、冷却温調用水の再生利用のための設備等

上記に付帯する設備(配管、ポンプ類、高置水槽、電気計装類、土木建築設備等)

上記設備の設置に必要な土地

3 融 資 額 対象工事費の30%程度です。

4 金 利 (特利)7.05%です。

(参考)

A 雑用水利用設備の内容

沈砂ピット及びスクリーン

調整槽 B10—SURF

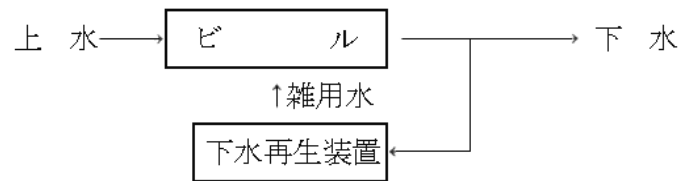
沈殿槽 凝集沈殿槽

砂ろ過槽 オゾン接触槽

塩素滅菌法 供給水槽

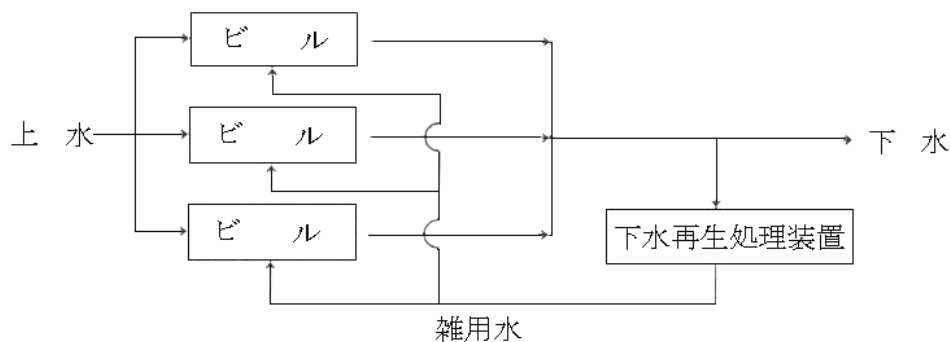
B 雑用水利用設備の処理方式

個別循環方式：ビルから発生する下水を再生処理し、同一ビル内の雑用水として利用する方式



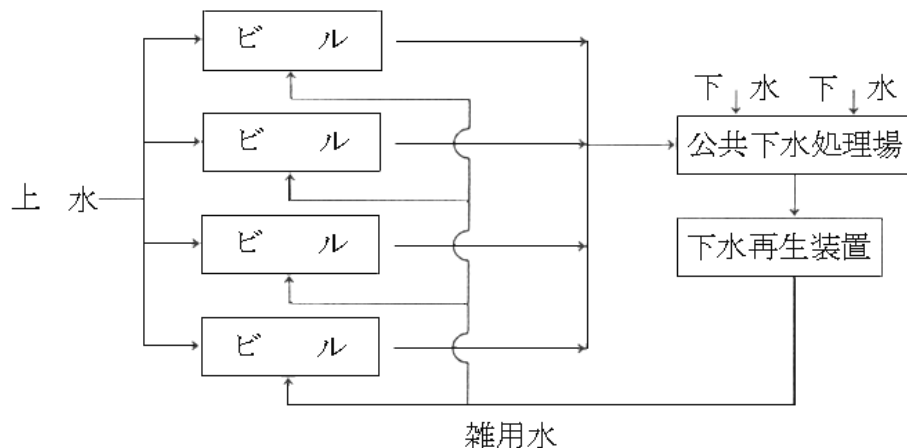
地区循環方式：複数のビルから発生する下水を再生処理し、それらの複数のビル内の雑用水として利用する方式

(例) 日比谷シティにある日比谷国際ビル、富国生命ビル、プレスセンタービル、日比谷セントラルビルの4つのビルは、地区循環による雑用水を利用している。



広域循環方式：公共下水処理場からの下水処理水を再生し、ビルの雑用水として利用する方式

(例) 新宿副都心にある野村不動産ビル、新宿センタービル等は、落合下水処理場からの下水処理水を利用した広域循環による雑用水を利用している。



雨水利用方式：雨水を再生処理して、ビル内の雑用水として利用する方式

(例) 両国の新国技館ビルは、雨水のみを雑用水として利用しており、東京証券取引所ビルや赤坂ツインタワービルは、個別循環による下水と雨水の相方を再生処理して雑用水として利用している。

C 61年度からの変更点

従来、雑用水利用設備の融資対象としては、 個別循環方式、 地区循環方式のみを対象としていたが、61年度より 広域循環方式、 雨水利用方式についても融資対象として拡充追加する。